

平成30年 東北大学前期日程試験【数学】問題分析

1 今年（H30）の傾向

総評・講評（大問毎に）

理系

①（図形と方程式）

通過領域を求める典型問題

②（確率）

丁寧に数え上げを行う。数列の和の計算が必要

③（整数の性質） 整数の様々な性質を理解している必要がある

- (1) 不等式による評価
- (2) 剰余の性質
- (3) 素因数

④（三角関数）

三角関数に関する公式を使いこなす

(1)が示せなくても、その結論を用いて(2),(3)を示すことができる

⑤（複素数平面）

(2)は極形式を用いることに気付くかが鍵

⑥（積分法の応用）

斜めの軸に関する回転体の体積
類似問題を経験していないと厳しい

総評

昨年のような手間のかかる問題は少なくなったが、

多面的なアプローチを要する問題は多い。

誘導に従って丁寧に解けば高得点が望める

2 合否ライン（予想）※他の教科が合格ラインをとったときの得点（%）予想

【理系】

理学部	65 %	歯学部	50 %	保健/ 放射線	50
工学部	60 %	薬学部	60 %	" / 検査	50
医学部	75 %	農学部	50 %		

3 来年受験する生徒へのアドバイス

参考書の典型問題をしっかりとこなしておくことが必要。

誘導は最大限活用しよう。

確率は丁寧な教え上げを要する問題に取り組んで鍛えておこう。